

高等教育活性化シリーズ 299 (通算 629 回)

2015 年 8 月 4 日 (火)

“知らせたい” から “知りたいこと” へのシフト——

# 大学ポータルサイトの検証と活用方策

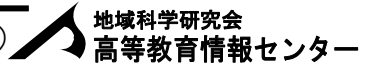
～ Web デザインの進化 / スマホ・タブレットへの対応 / コンテンツの魅力度アップ ～

- ※ 韓国の大学情報公示制との参照による検証 / 公表項目とその変遷 / 相対評価機能 / 大学評価との連携
- ※ 学校情報ポータルサイト運営 20 年の実績 / HP 利用状況データと変化 / 今後のコンテンツ管理
- ※ [聖学院大] 中小大学からのポータルサイト評価 / 作成・更新の実際 / 広報パーソンの新たな役割と FD
- ※ [東洋大] 印刷パンフから電子メディアへの全面移行 / 総合大学の広報戦略とその展開 / 実績と課題
- ※ [東京都市大] 大学情報サイトの利活用 / 個別アプローチの多様化 / コンテンツ魅力度アップ

● 講師陣 ●

松本 麻人 氏 / 文部科学省 生涯学習局 参事官付 外国調査係 専門職  
 武田 英成 氏 / (株) インサイトインターナショナル 代表取締役  
 山下 研一 氏 / 聖学院大学 広報センター 所長  
 加藤 建二 氏 / 東洋大学 理事・入試部長  
 神戸 悟 氏 / 東京都市大学 企画室 (広報戦略)

2015 年 8 月 4 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



日時: 2015 年 8 月 4 日 (火) 10:00~16:40  
 会場: 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町) 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362  
 アクセス: 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩 10 分

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。  
 支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
 郵便振替 00110-8-81660  
 口座名 <(株) 地域科学研究会 >  
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。  
 申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター  
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
 Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082  
 E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)  
 HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。  
 参加費: A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (消費税込)  
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 42,000 円 (送料、消費税込)  
 C. 高等教育同人 (☆) 21,000 円 (消費税込)  
 ※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。  
 ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。  
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。  
 ☆高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認願います。

☆ ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 299

## 大学ポータルサイトの検証と活用方策

2015 年 月 日

(口)に✓印を)  当日参加  メディア参加

支払方法  郵便振替  当日払い  銀行振込  
必要書類  請求書  見積書

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 } 10:40	<p>□ 韓国の大学情報公示制と Web サイトの運用状況                      ～ 制度の狙い／公表の項目及び内容／比較と相対評価の機能 ～</p> <p style="text-align: right;">文部科学省 松本 麻人</p> <p>1. 大学情報公示制の背景と目的                      (1) 韓国高等教育の概要 (2) 大学情報公示制導入の背景 (3) 制度の目的と狙い</p> <p>2. 情報公開の内容                      (1) 法的根拠 (2) 公表項目 (3) 公開内容の変遷</p> <p>3. 公表結果の活用                      (1) 大学間の比較と相対評価機能 (2) 大学評価との連携 (質疑応答)</p>
10:50 } 12:20	<p>□ 「ナレッジステーション」サイトの構成と運用状況                      ～学校情報ポータルサイト運営 20 年の実績とコンテンツ評価～                      (株) インサイトインターナショナル 武田 英成</p> <p>1. 日本で最初の「学校情報ポータルサイト」誕生は 1995 年 5 月                      (1) サイト誕生のきっかけと日本を代表する企業との連携                      (2) いつでも、誰でも、何度でも-「学びトラベル出発駅」のコンセプトとめざしたもの                      (3) 高校生のインターネット利用・学校調べとナレッジステーションへのアクセス                      (4) 主利用者は高校生。その進路動向に沿った「日本の大学—短大—専門学校」案内</p> <p>2. インターネットの大学案内「日本の大学」の姿 (コンテンツと外部評価)                      (1) Google や Yahoo などの検索順位から見たサイトの評価                      (2) 個別大学別ホームページ利用状況のデータと変化 (設置者別、地域別、年次別等)                      (3) 「日本の大学」のコンテンツと大学案内基本姿勢(学部、大学院、生涯学習、他)                      (4) スマートフォンからのサイトアクセス者急増と今後のコンテンツ管理</p> <p>3. 毎日のネット学校訪問をとおして～「これからの学校案内—徒然草—」                      (1) 「大学へ進学する」。高校生の価値変化と大学情報の発信(ブリーズ化)                      (2) 大学進学実績と高校の中学生対象説明会が意味するものと情報支援                      (3) 「就職とくらし」がより強く意識される時代の大学選び「プラス...」                      をめざすナレッジステーションのモデル (質疑応答)</p>
	<p>ケーススタディ「大学ポートレートへの各大学の評価と対応」</p>
13:20 } 14:20	<p>A. [聖学院大] 大学ポートレートの評価と活用の実際                      ～中小大学から見たポートレートと広報パースンの新たな役割～</p> <p style="text-align: right;">聖学院大学 山下 研一</p> <p>1. 大学ポートレートを検証してみる                      (1) 私立大学の初年度大学ポートレート作成の実際 (本学を事例に)                      (2) その後の情報更新・メンテナンスの実際 (3) 見えてきた問題点</p> <p>2. 大学広報と大学ポートレートの役割を考える                      (1) 各大学広報活動と大学情報ポータルサイトとの関係                      (2) 大学広報の役割 (3) 広報パーソンに求められる姿勢とトレーニング</p> <p>3. 大学ポートレートへの期待と要望                      (1) 学校広報ソーシャルメディア活用勉強会(通称 GKB48)での「大学ポートレート」勉強会を通じて出された問題点と要望                      (2) 理想の大学ポートレートを考える (大学からの要望) (質疑応答)</p>
14:30 } 15:30	<p>B. [東洋大] 東洋大学の挑戦                      ～ これからの情報発信のカタチとは ～</p> <p style="text-align: right;">東洋大学 加藤 建二</p> <p>1. TOYOWebStyle 導入の背景                      ～ 紙から Web へ完全移行の真意とは ～</p> <p>2. TOYOWebStyle とは                      ～ 激変した広報活動、その現状と反応 ～</p> <p>3. TOYOWebStyle の今後の展開                      ～ Web 体験授業配信開始 教育・研究内容やその取り組みで「選ばれる大学」へ ～</p> <p>4. これからの情報発信のカタチとは                      ～ 横並びの情報発信から、受験生個々の関心・ニーズに応える情報発信へ ～ (質疑応答)</p>
15:40 } 16:40	<p>C. [東京都市大] 大学ポートレートを始めとする大学情報サイトの活用                      ～膨大な情報が受験生の意志決定に役立つために～</p> <p style="text-align: right;">東京都市大学 神戸 悟</p> <p>1. 大学ポートレートについての感想 (評価?)                      (1) 黎明期における課題 (2) 新聞社系の重厚調査との関係                      (3) 各大学にみるそれぞれの対応 (4) 大学ポートレートに期待するもの</p> <p>2. 大学情報サイトの活用                      (1) 自大学サイトと大学情報サイトとのコンテンツ                      (2) 大学情報サイトを利用した個別アプローチ (3) 個別アプローチの多様化の可能性</p> <p>3. コンテンツの魅力度アップのための課題                      (1) リソースの配分という制約 (2) 情報収集・発信を行う上での課題                      (3) 受験生の意志決定プロセスとコンテンツ、その他 (質疑応答)</p>